

8 情報教育指導計画

1 ねらい

- ・進んで課題を見つけ、情報を収集しようとする。
- ・収集した情報から必要なものを選択したり、集めた情報を分かりやすくまとめたりして課題を解決しようとする。
- ・相手の立場に立って、正しく伝わるように情報を伝えようとする。
- ・情報化社会を生きるために、正しい情報モラルを身に付けようとする。
この中から特に「情報を収集する・選択する」「正しい情報モラルを身に付ける」という部分を中心に情報教育を進めてく。また、パソコン教室を情報教育の拠点として機能するようにしていく。
- ・「コンピュータを受け身ではなく、積極的に活用する力」や「プログラミング的思考（論理的思考力）」を身に付けようとする。

2 内容

6年間を通じて、インターネットやソフトウェアからの情報を収集し、選択・判断し整理する。それを学習に生かすため、新聞作成やプレゼンテーションなど様々な形で表現できるよう、パソコンを利用した情報活用能力を高める。プログラミング学習を通して、「コンピュータを受け身ではなく、積極的に活用する力」や「プログラミング的思考（論理的思考力）」を高める。

○ 指導時間・内容

- ・情報教育は、全ての授業・教育活動において行うものとする。
- ・技能指導だけでなく、情報モラルに関する学習もこの時間に行う。

○ 活用時間

- ・基本的には、割り当てられた学年が優先で使用できる。
- ・割り当てられた時間以外を使用したい学級・学年は、施設予約を行う。予約していなくても、空いている場合は開放し、学習全般において利用できるようにする。ただし、必ず、担当教師が付き添うこととする。

○ パソコンルーム使用について

- ① 未使用時は施錠しておく。
- ② パソコンを使用する際は、パソコンごとに利用者ノートに記入する。
- ③ パソコン・プリンター・プロジェクター等の電源が消えているか、キーボードやマウスがそろっているか等を確認して、鍵を閉める。ただし、サーバーの電源は絶対に消さない。
- ④ 消耗品（プリンターインク、トナー、紙類）などについて
 - ・紙は廊下側テレビ台に、プリンターインクは後ろロッカーにあります。
 - ※消耗品がなくなりそうになったら、視聴覚部に連絡を。（注文する関係上、早めに連絡してください。）
- ⑤ その他 機器等の故障・不具合を見つけたら、早急に視聴覚部へ連絡をする。